



議長

新年のごあいさつ

桜川市議会 議長
うしおだ しんせい
潮田 新正



桜川市長
おおつか ひでき
大塚 秀喜

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、平素より、市政に対して温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。私も、市民の皆様からの負託を受けまして桜川市長という大役を担わせていただき、1年が経過いたしました。改めて、責任の重さに身の引き締まる思いを感じております。

昨年、皆様にとりましてどんな一年だったでしょうか。国政のうえでは、消費税率が8%に引き上げられ、また、さらなる消費税率10%への引き上げの延期と経済政策「アベノミクス」の是非を問う、衆議院の解散が行われました。結果、与党の勝利に終わり、長期政権の様相を呈しております。

こうした中、消費税率の引き上げが延期された場合、地方自治体にどのような影響が出るのか。医療・介護・子育てといった社会保障の維持や拡充にあてる財源をどのように確保するのかなど、政治情勢が大きく変動する中で、地方自治体を取り巻く環境は依然として厳しく、経

済情勢も含め、先行きますます不透明感を増しております。また、合併による普通交付税の不利を被ることがないよう、合併後10年間は、合併がなかったものと仮定し、合併前の旧町村ごとに算定した普通交付税の合算額を保障した「合併算定替え」が行われてきました。しかし、合併後11年目の平成28年度から段階的に普通交付税が縮減され16年目には、一つの地方自治体として普通交付税が算定される「一本算定」が見込まれるため、本市の財政も予断を許さない状況にあります。

このような状況ではございますが、桜川市第1次総合計画に掲げる桜川市の将来像「伝統と豊かな自然に恵まれた田園文化都市やすらぎのまち桜川」の実現を目指して、私が市民の皆様にお約束いたしました、命と健康を守る・産業を元気に・観光活性化・農業振興・教育の充実・行財政の充実の6つの基本姿勢を柱とした各種施策を推進して参ります。

特に、桜川市は、医療の過疎化が進行し、地域医療の充実が課題となっております。中でも、新中核病院の整備と県西総合病院の存続は喫緊の課題であり、

医師の確保や医療連携の構築などの諸問題に取り組んでおります。

また、企業誘致を積極的に進めて財源確保に努めるとともに、桜川市の未来を担う子どもたちのための、安全で安心なより良い教育環境の整備などは、最重要課題に位置付け、積極的に施策を講じて参ります。

一方で、本年は、桜川市に限りまして市制施行10周年という節目の年になります。平成の大合併により、平成17年10月1日に旧岩瀬町・大和村・真壁町が合併して桜川市が誕生し、本年度10年の歳月が経過しようとしております。

この記念すべき年が、桜川市の新たな時代の礎となるよう、10年間の歩みを振り返りながら、主要施策に全力を傾注するとともに、桜川市の発展基盤となる取り組みをさらに加速させて参りたいと考えております。

つきましては、市民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結び、本年が市民の皆様にとりまして、幸多き一年となりますよう、ご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた新春を健やかに迎えたいと心からお慶び申し上げますとともに、日頃から市議会に對しまして、ご理解とご協力を賜り衷心より厚く御礼を申し上げます。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災からの復興・復旧、長年続いたデフレや不況からの脱却、消費税引き上げを伴う税と社会保障の一体改革など、大きな社会構造の転機を迎えようとしております。

国においては、自民党・公明党連立政権により発足した第2次安倍内閣において、日本経済のデフレ不況からの脱却と経済再生を目指す大胆な経済政策「アベノミクス 三本の矢」

大胆な金融緩和、機動的な財政出動、民間投資を喚起する成長戦略が打ち出され、少しずつ経済回復が進んで来ており、大手企業や一部の投資家の方々が恩恵を受けているような状況ではないかと思われま

しかし、中小企業や地方においては、経済再生の兆しがまだまだ程遠い状況にあります。こうした時代だからこそ社会

の変化を的確に捉え、市民本位のまちづくりと自立した責任ある分権型社会の構築が必要不可欠であると考えます。

昨年度を振り返りますと、富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産に登録されました。スポーツ界では錦織選手が全米オープンテニスで見事、準優勝という輝かしい成績を残しました。更に小惑星探査機「はやぶさ2」が打ち上げに成功し、日本の科学水準の高さなど、世界に誇れる嬉しい出来事、そして大きな感動と喜びを沢山いただいたところでございます。

一方では、御嶽山の噴火や台風の上陸による甚大な被害など、自然災害が猛威を振るった年でもあり、その脅威を感じさせられたところでもあります。

改めて、防災対策の必要性和重要性、地域の連帯意識と助け合い精神の大切さを感じさせられた昨年でもありました。

桜川市においては現在、甚大な被害をもたらした重要伝統的建造物群保存地区の建造物を国・県の補助等を受けながら歴史的景観に配慮して修復作業を行っているところでございます。

来月から開催されます「真壁のひなまつり」は、今では茨城

県を代表する早春の風物詩となり、大きな観光事業であり一大イベントとなりました。多くの観光客の方々がこの地に訪れますが、この力強い復興の力を見ていただき感動と希望を与え、「元氣」をこの地から発信していただきたいと願っております。

我々議員も、一人ひとりが議会の使命と議員の職責を認識し、品位ある議会運営・議会活動を実践し、二元代表制の一方の担い手として、「住んでみたい」「住んで良かった」と言われるような健康的で文化的な明るい社会と、活気と活力溢れる市の発展を目指し、その実現に向けて努力してまいりますので、皆様の更なるご指導・ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。

本年は、羊年であります。羊がつく漢字も多く「祥、翔、義、美、善」などよい意味をもつものに用いられています。

また、群れをなして行動するため、家族の安泰や平和をもたらす縁起物とされています。平成27年が、市民の皆様にとって、実り多き幸せな年でありませうとご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。